

《第5回 BPC 公開研究会》SJ（就労者に対する日本語教育）指導者の役割：事例研究シリーズ③

外国人材の活躍が期待される今、企業活動と日本語教育をつなぐ SJ 指導者の役割がますます重要となっています。そこで本年 BPC 研究会では、事例研究シリーズとして実践を通してその役割を再確認し、どのように就労現場・教育現場の改革、自身のキャリアを形成していくことが可能か、考えていきます。

シリーズ③は、「地域日本語教育システム」と SJ を取り上げます。

SJ 指導者とは？

日本語教育に加え、企業活動とコミュニケーション教育に関する知識、経験を持ち、異なる立場の人々と協働して就労現場の日本語教育・研修を企画実施できる人材。

事例研究シリーズ③ 地域日本語教育システムと SJ

人材不足が加速する日本では、外国人材の受け入れ、定着が重要な課題となっています。1990 年の入国管理法改正以来、既に多くの外国人と外国につながる人々が日本で生活し、様々な形で生活や日本語の支援が行われてきました。多文化共生のあり方への具体的な提案もなされています。2007 年には日本語教育学会による調査研究報告書で「地域日本語教育システム図」が示され、コーディネーターという役割の重要性が提唱されました。

今回は、上記の調査研究にも深く関わり、富山県の各方面で日本語教育、日本語支援を実践してきたトヤマ・ヤポニカの代表理事中河和子さんをお招きし、「システム作り」「日本語教育の専門性」「人材育成」をキーワードにお話を伺います。トヤマ・ヤポニカの実践をヒントに、現在の SJ の課題にどのように取り組んでいけるか、議論を深める場としたいと思います。

1. インタビュー形式による講演 スピーカー 中河和子（トヤマ・ヤポニカ代表理事）
聞き手 品田潤子（BPC 研修サービス）
2. 全体討論

中河和子氏プロフィール

トヤマ・ヤポニカ代表理事。1991 年トヤマ・ヤポニカに入社し、大学・企業・自治体等のさまざまな日本語教育とそのコーディネートに携わる傍ら、地域日本語教育人材養成をライフワークとする。県下始め全国で養成講座や研修や調査を行いながら、地域日本語教育のあるべき道を探り続けている。2000 年より（公財）とやま国際センター等と協力し、教室コーディネーターとして、県下 6 か所に対話活動による教室を立ち上げた。現在も富山県派遣のアドバイザーとして教室に出向いている。

著書に「外国人と対話しよう！にほんごボランティア手帖」凡人社、2010（共著）、「しゃべらんまいけー地域ボランティア教師のための活動集ー」（公財）とやま国際センター、2007（編著）等。

開催日時と方法：2022 年 11 月 25 日（金曜日）19:00～21:00 ZOOM 同期型

研究会参加費：¥1000（研究会の運営維持のためご協力ください）

お申し込みは BPC Website、または下記 Email にお申し込みください。



Website はこちら

定員 60 名（先着順）

*E-mail の場合は、【第5回研究会申し込み】タイトルで、お名前、参加動機、よろしければご所属をお書きください。 info.businessprocess@gmail.com

BPC 研修サービス Business Process Communication Training Service
Email : info.businessprocess@gmail.com Website : <http://www.bpcts.org>
代表：品田潤子
Office：〒105-0014 東京都港区芝 3-16-1 芝鈴木ビル 202
学ぶスペース GA-LABO 内